

1月に実施した学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告いたします。保護者、児童に対し、おおよそ同様の質問項目で、アンケートを実施しました。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、来年度へと生かして参りたいと思います。

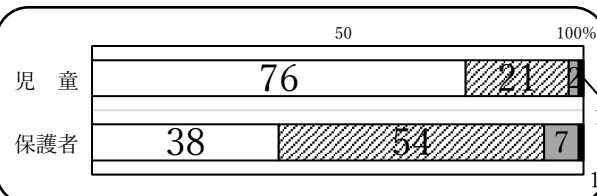
一年間、本校における学校教育活動に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。
 〈数値は、%〉



そう思う:
 どちらかというと思う:
 どちらかというと思わない:
 思わない:

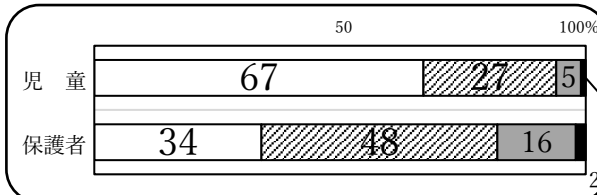
1：挨拶について（児童：「進んで挨拶をしていますか」、保護者：「おさんは挨拶ができる子に育てていますか」）

児童の97%、保護者の方の97%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。挨拶は、人々との関わりにおいて、コミュニケーションの第一歩です。学校でも、より挨拶をすることができるよう生活指導の重点内容として、指導を続けています。これからも、気持ちのよい挨拶ができるよう、引き続き指導をしていきたいと思ひます。



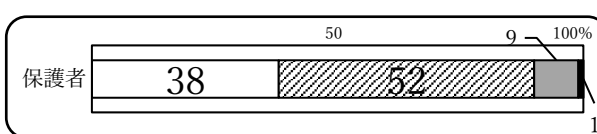
2：家庭学習について（児童：「家では、毎日勉強をしていますか」、保護者：「家庭での学習習慣は、身に付けていますか」）

児童の94%、保護者の方の82%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。学習の基礎・基本を定着させるためには、その日の学習をもう一度振り返る家庭学習（復習）が大切です。各学年、宿題を出していますので、ご家庭でも励ましの言葉を掛けていただく等、ご協力をお願いいたします。



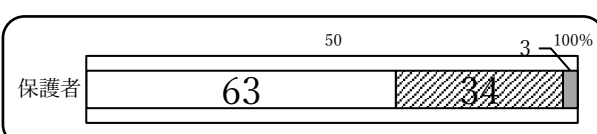
3：子どもとの会話について（保護者：「おさんは、学校での様子や出来事について、保護者の方と十分な会話ができていますか」）

保護者の方の90%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。お子さんとの会話の中で、少しでも不安なこと、心配なことがございましたら、お気軽に担任へお申し出ください。学校には、週に二度スクールカウンセラーも来ています。



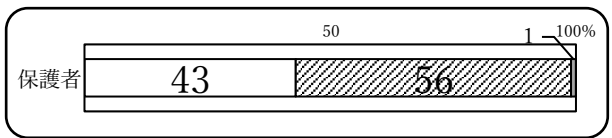
4：開かれた学校について（保護者：「学校は、感染症対策を行いながら、行事や授業参観など、保護者が学校に来ることができる機会をつくっていますか」）

保護者の方の97%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響があり、思うように保護者の方に来校していただくことができませんでした。次年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、できる限り学校でのお子さんの様子を見ていただきたいと思います。



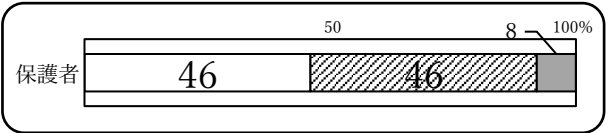
5：学校の防犯対策について（保護者：「防犯対策など、子どもが安心して学習できる環境を整えていますか」）

保護者の方の99%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。学校では例年、防災訓練・防犯訓練等を行っていますが、今年度は、感染症の影響もあり、内容を縮小して各訓練を実施しました。また、休み時間は、教職員も運動場に出て、子どもたちを見守っています。保護者の皆さまにも、来校時の名札着用についてご協力いただいています。今後も、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、安全意識を高め、防犯体制を整備していきたいと思ひます。



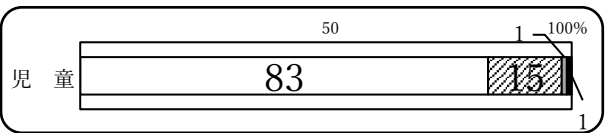
6：学校の情報提供について（保護者：「学校の教育活動や子どもの様子について、学校だよりや学年だより、ホームページなどで十分な情報提供を行っていますか」）

保護者の方の92%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。学校では、学校だよりや学年だより、ホームページやきずなネット等で学習や行事など学校生活に関することをお伝えしています。ご不明な点、ご質問がございましたら、お気軽にご連絡ください。



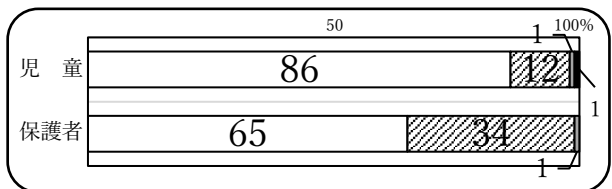
7：友達について（児童：「学校の友達となかよくしていますか」）

児童の98%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。今後も、友達となかよく過ごすことができるように見守っていきたく思ひます。ご家庭でもお子さんから学校の様子を聞いていただき、温かく見守っていただくようお願いいたします。ご心配な点がございましたら、学校へご連絡ください。



8：楽しく過ごせる学校について（児童：「学校は楽しいですか」、保護者：「学校は、お子さんにとって楽しく過ごせる場となっていますか」）

児童の98%、保護者の方の99%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。児童にとって、学校は、日々の生活の場となります。「学校が楽しい」と思えることは、とても大切なことだと思ひます。これからは、「楽しい学校づくり」を目指して、職員一同、頑張っていきたいと思います。



9：学習者用タブレットについて（児童：「タブレットを使った学習は、学習内容を理解することに役立っていますか」（3～6年生対象））

児童の97%が「そう思う」「どちらかというと思う」と回答しました。各教科の学習では、授業支援アプリ「ロイロノート・スクール」を活用して友達と考えを共有したり、AIドリル「Qubena（キュビナ）」を使って漢字や計算の学習に取り組んだりしています。今後も、タブレットを利用した学習形態と、従来の教科書とノートを使った学習形態とを使い分けながら学習を進めていきます。

学習者用タブレットについて、子どもたちの感想を一部紹介します。

- 図工の作品を写真で撮影して、いつでも見返すことができたからうれしかった。
- 友達の考えを知ることができて、話し合いがしやすくなった。
- インターネットを活用して、調べたいことをすぐに調べることができる。
- タブレットを使った方がよいときと、ノートを使った方がよいときがある。
- タブレットを長時間使うと、目が疲れるときがあるので、休憩しながら使っていた。